

令和5年度 未来につなぐ森林づくり交流会

# 北海道指導林家連絡協議会 10年のあゆみ

北海道指導林家連絡協議会(事務局)

〔北海道森と緑の会 広報普及部長 菅崎 治宏〕

1. 指導林家認定制度のはじまり

2. 北海道指導林家連絡協議会設立の経緯

3. 10年のあゆみ(活動の紹介)

4. 北海道指導林家連絡協議会のこれから

5. 【事例紹介】青年林業士から指導林家へ

6. 将来に向けて

# 1. 指導林家認定制度のはじまり

国

## 「林業後継者育成指導林家」認定制度

- ・国が認定 [昭和53(1978)年～平成11年度]

## 実践林家による林業後継者育成

- ・市町村を単位とした「拠点的育成」
- ・拠点市町村に優れた林業経営をしている「後継者育成指導林家」を設置
- ・昭和53年に道内16市町村に32名を設置 → 平成5年までに127名を設置

# 1. 指導林家認定制度のはじまり

## 国

【平成12年4月1日付け林野庁長官通知】

- 地域の模範と認められる林業経営の実践、人格・見識が優れている
- 林業後継者の育成指導、積極的に指導活動ができる
- 都道府県知事は、市町村長等の推薦を受けた者を指導林家として認定

## 道

【平成12年11月7日付け水産林務部長通知】

- 認定要件は、国の通知と同様
- 各種コンクール等への積極的に参加、林業技術・知識の研鑽
- 市町村長は、要件を満たす者を指導林家として、総合振興局長等に推薦

## 2. 北海道指導林家連絡協議会設立の経緯

### 経緯

- 平成13年度 各地域で指導林家協議会が設立  
最初は、北空知地区(平成13年8月2日)
- 平成19年度 地域の指導林家協議会の組織化への機運が高まる
- 平成24年度 全道17地区の全てに地区協議会が設立され、「北海道指導林家連絡協議会」を設立

**平成25年2月28日**  
**北海道指導林家連絡協議会設立総会**

## 2. 北海道指導林家連絡協議会設立の経緯



【初代役員】 ○ 岡部会長(空知)、中協副会長(日高)、佐藤副会長(才木東)、古川監事(胆振)、清原監事(根室)

### 3. 10年のあゆみ ～北海道指導林家連絡協議会の活動～

#### 主な活動内容

- H25 北海道指導林家連絡協議会設立
- H26～ 【第1回】通常総会（毎年実施：R3～4はコロナ禍により書面開催）
- H26～ 【第1回】全道研修会（毎年実施：R2～3はコロナ禍により中止）
- H28・30 道外研修会（岩手県ほか、長野県）

#### 【直近の活動】

- 令和5年9月28日（札幌市）【第8回】全道研修会  
・「相続登記の申請方法及び相続登記申請の義務化について（札幌法務局）」
- 令和6年2月15日（札幌市）【第11回】通常総会



### 3. 10年のあゆみ ~全道研修会の開催~



平成26(2014)年8月28日 第1回全道研修会

平成29(2017)年8月28日 第4回全道研修会



### 3. 10年のあゆみ ~全道研修会の開催~



令和元(2019)年全道研修「松平指導林家」  
(胆振東部地震:厚真町)



2018年9月11日 被害直後





### 3. 10年のあゆみ ～道外研修会の開催～



平成28(2016)年道外研修「岩手県バイオマスセンター」



平成30(2018)年道外研修「長野県川上村カラマツ木造施設」

### 3. 10年のあゆみ ～北海道林業グループ協議会との合同研修会の開催～



H26.2.26 活動報告をする有馬指導林家



H28.2.24活動報告をする黒川指導林家



H31.2.26 合同研修会(右:小森指導林家、左:富丘林業グループ 小浜氏)



# 3. 10年のあゆみ（市町村への支援）

## 市町村職員技術力向上支援事業

- 市町村林務担当者の知識・技術の向上を強化
- 指導林家**等の林業専門家と連携し林業普及指導職員による研修会や現地指導等を実施
- 森林経営管理制度、森林環境譲与税の活用などが円滑に進むよう、市町村職員を支援

### 実績と計画

区分	予算	回数
R4実績	2,166千円	30回
R5計画	2,166千円	26回

※予算は、道の森林環境譲与税



防風林の施業方法について提言を行う  
土橋指導林家（新篠津村）



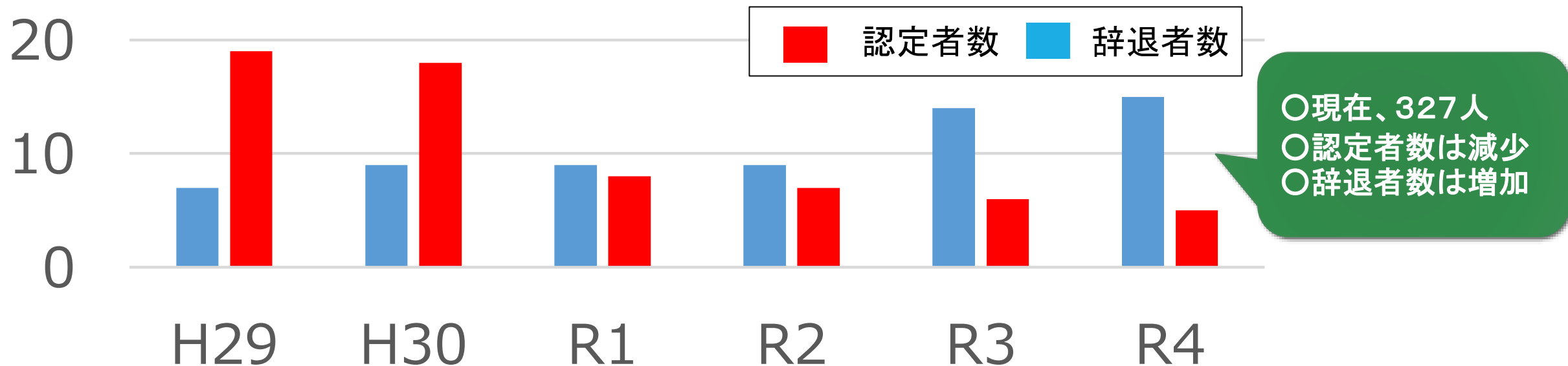
スギ人工林の手入れを説明する佐藤  
指導林家（知内町）



佐々木指導林家氏所有山林で  
意見交換を実施（むかわ町）

専門的な技術を有する指導林家として地域の林業指導者を育成する

## 4. 北海道指導林家連絡協議会のこれから



◆ 将来、指導林家となる人材の育成が必要

○ 森林所有者の後継者 ⇒ 青年林業士 ⇒ 指導林家  
○ 新たな林業グループ員 ⇒ 指導林家

## 4. 北海道指導林家連絡協議会のこれから

「キーパーソン」 (将来の鍵を握る人たち)

・ 林業グループ

・ 青年林業士

・ 林業普及指導員等

・ 市町村職員

支援  
・  
協力

・ 森林組合等林業事業体

・ 地域の関係者

・ 指導林家



## 5. 【事例紹介】青年林業士から指導林家へ

息子の古瀬清一郎さん)



地元学生にトドマツ苗木について説明する父「古瀬幹士さん」



親子で優良苗木を生産(右:息子の古瀬清一郎さん)

○幼き頃から指導林家としての父の背中を見て、自らも指導林家へ



## 5. 【事例紹介】青年林業士から指導林家へ



グループ研修(山行き苗木の生産技術)



グループ研修(簡易炭釜での木材利「木炭づくり」)

○林業グループ活動を通じて → 青年林業士 → 指導林家へ

## 5. 【事例紹介】青年林業士から指導林家へ



父「古瀬幹士」さん 平成26年3月 認定証交付式

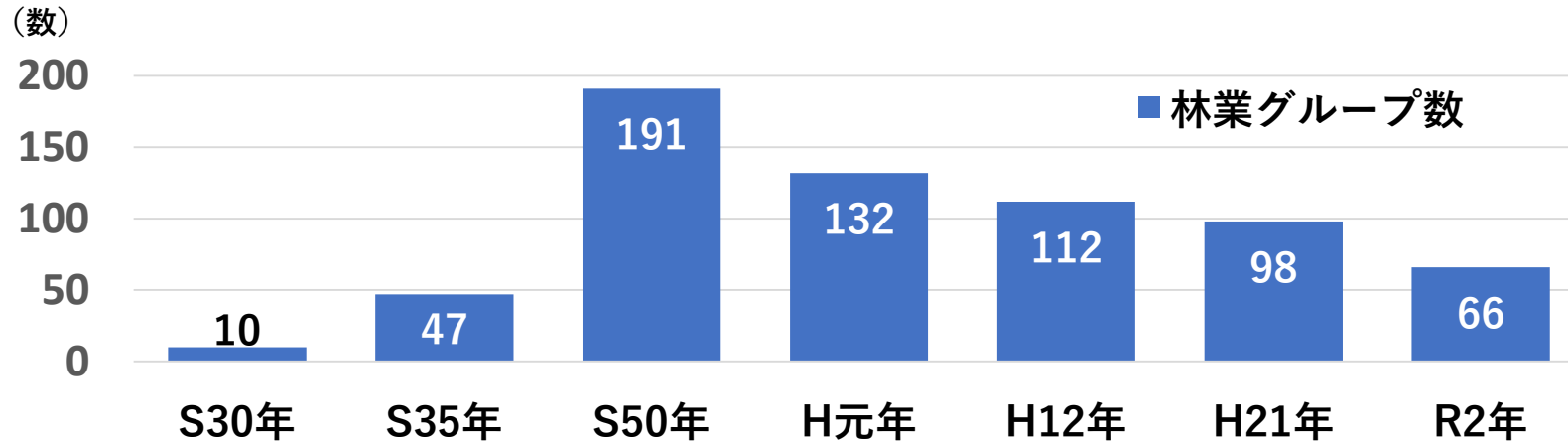


息子「古瀬清一郎」さん 令和4年3月 認定証伝達式

平成23年2月青年林業士認定



# 6. 将来に向けて（林業グループ活動の活性化）



◆ 将来、指導林家となりえる林業グループ数は最盛期の1/3程度まで減少



昭和35年頃

林業グループのほとんどが地元の林業普及指導員からの呼びかけによるものが多い



昭和50年頃

東神楽林業グループ: 青年の山の整備



平成12年頃

森町林業グループ: 室内検討会

○ 指導林家・林業グループ・林業普及指導員は共に歩み現在に至る



## 6. 将来に向けて

各地区の指導林家連絡協議会会員が、地域における森林・林業、木材産業への貢献や社会貢献が行えるよう活動を継続していきます。



平成26年度 北海道指導林家連絡協議会全道研修会

ご静聴ありがとうございました

